

導入事例 株式会社丸石 様

冷却ユニットで用紙の「波打ち」や「貼り付き」を徹底抑制。 生産性とメディア対応力を備えたimagePRESS V1000で業務拡大。

Client Profile



株式会社丸石

図面、名刺、封筒、挨拶状など各種印刷・製本

従業員数：20名

代表取締役：石毛博和

所在地：東京都新宿区代々木2丁目18-5

創業：1970年9月

資本金：2,000万円

事業内容：報告書、図面等のデータ出力・
各種製本・スキャニング・複写



コピーから製本までトータルでサービス提供。 最新鋭のデジタル印刷機で積み上げた実績。

株式会社丸石は、コピーから印刷、製本まで一貫したサービスを提供する企業です。主な顧客は、JRグループ、建設会社、土木コンサルタント、建設事務所、大学など多岐にわたります。大図面のスキャニングやデータ入力、加工サービスにも取り組むほか、電子納品の提出用データ作成にも豊富な経験と実績を持ちます。プライバシーマーク使用許諾事業所として情報管理を徹底するほか、顧客が望む以上のクオリティで応えることを信条としています。

2022年11月、3代目社長に就任した石毛博和氏は、「創業当時から最新鋭の機器をそろえ、顧客の要望に応えることを使命に取り組み、時代のニーズに応えながら成長してきました。業務において最も重視しているのは、顧客からの信頼です」と語ります。創業から50年超。複写から印刷・製本まで手掛けるプロフェッショナルとして、途切れることのない信頼をつないできた誇りは、丸石の緻密な仕事ぶりに現れています。「私たちの会社の信頼は、制作物や納品物の念入りなチェックによって積み上げてきたものです。お客様の手違いによる原稿の入れ替わりやページ抜けがないように、製本前の確認は欠かしません。こういったきめ細かな対応が弊社の強みと言えるかもしれません」（前出・石毛氏）。

01 導入背景

生産性向上を実現する、最新鋭のオンデマンド印刷機に注目。

弊社は建築図面などの青焼きコピーを請け負う複写事業からスタートし、時代の変遷と共に大判モノクロコピー、カラーコピー機などの機器を導入して、印刷・製本を軸に、スキャニング、データ化といった顧客ニーズの変化にも対応してきました。土木、建築、設備など建設関係の設計図面の印刷・製本の業務は、年度末の3月に集中します。以前は



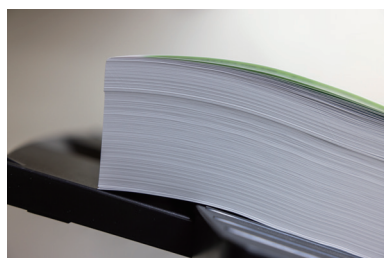
観音製本される設計図面の例

キヤノンのオンデマンドプリンター、imagePRESS C10000VPとimagePRESS C850で生産体制を組んでいましたが、繁忙期のさらなる生産性と印刷品質の向上が課題だと感じていました。ちょうどそのタイミングでimagePRESS V1000が発表されたのです。

02 選定理由

冷却ユニットでスムーズな後工程を実現。高速出力と省スペース、色の再現性が導入の決め手。

imagePRESS V1000のデモンストレーションで驚いたのは、まずは出力スピードです。厚紙でも毎分100枚の高速出力を実現するなど、上位機種imagePRESS C10000VPと同等の生産性が見込めました。それならimagePRESS C10000VPをもう一台導入したいところですが、設置スペースがありません。その点、imagePRESS V1000のコンパクトさも魅力でした。また、オンデマンド印刷機としての基本性能が大きく向上していることも実機デモでわかりました。用紙の波打ちを抑制する「冷却ユニット」(本体に標準装備)は、用紙同士の貼り付きがなく



冷却ユニットにより用紙の波打ちを抑えて出力。糊付けや製本などの後加工も円滑に。

整列性が高く排紙され、すぐに後工程にまわせるので、繁忙期における業務効率化を実現できる機能だと確信しました。さらにはimagePRESS C10000VPと同じく色の再現性にも優れ、導入を決めました。

安定品質で、現場に変革を。
imagePRESS V1000

安定品質

メディア対応力

生産性

imagePRESS V1000 概要ページ

<https://canon.jp/business/solution/production/ondemand-printer/lineup/imagepress/v1000>



- 冷却ユニット(標準装備)で用紙のカール(反り)を抑制
- 長尺から厚紙、封筒など多種多様なメディアに1台で対応
- 用紙ごとの定着温度切替によるロスを軽減する新転写技術
- 安定した色再現と高度な表裏見当(印刷位置)精度を実現

本機種を動画で紹介



03 導入後の成果

後加工の効率化と高精度化を達成。長尺、封筒印刷など領域拡大も実現。

糊付け作業を行う観音製本では、紙がカールしているときれいに糊付けができません。ひと晩かけてカールを取り除くこともあります。imagePRESS V1000では用紙のカールを抑え、断裁や製本などの後加工がスムーズに。さらに、薄紙から厚紙、封筒、長尺など多様なメディアに対応していることもimagePRESS V1000の魅力です。特に長尺の両面印刷では、カタログやパンフレットなどの三つ折りを1枚で出力でき、コストを抑えながら高品質な少数印刷を望まれるお客様に応えられます。また、中綴じ製本に対応するため「中綴じフィニッシャー・AF1」を装着したところ、ズレも緩みもなく正確かつ高精度に仕上げられるので大変満足しています。



長尺用紙に対応する長尺用トレイ(左)で、三つ折のパンフレット(右)も高速出力

04 今後の展開

高品位と生産効率を両立しながら顧客の信頼に応える。

印刷物にとって「納期」は最も重要なポイントです。どんなに良い印刷物でも、お客様が必要とされるタイミングに間に合わなければ価値がありません。弊社が創業以来、最新鋭の印刷機器を導入し続ける理由は、高品位な印刷物を期日どおりにお客様に納めるためです。納期を守りながら従業員に作業負担をかけず、繁忙期を乗り切るためにも、キヤノンのオンデマンドプリンターは欠かせない存在になっています。ミスのない印刷物をお客様にお届けする地道な努力を評価いただけているからでしょうか、既存のお客様からのご紹介で新規顧客におつなぎいただいています。「丸石に頼んでよかった」と評価いただくことを何よりの喜びに、今後も事業を展開していきます。



「imagePRESS V1000の冷却ユニットにより、機械を止めることなく連続生産が可能になりました。稼働率や作業効率の向上、オペレーションコストの削減にも貢献しています」
(業務部課長・国井洋一氏)